

みなさまから頂いたご意見や

アイデアを整理しました！！

・今回の作業部会では、芹沢公園憲章（案）や運営管理の仕組み、協働の維持管理について意見交換を行いました！

運営管理

・作業部会では、新しい仕組み（組織）を作り、実際に活動していくことを確認しました。

仕組み（組織）の維持について

- ・人材の確保が課題であり重要。
- ・多くの市民が公園に楽しく、活動に参加し易い方法を考えることが重要である。それが組織の活性化や人材の確保にもつながる。
- ・参加するメリットなどもあると人材が定着する。

仕組みづくりについて

- ・管理・運営のための新たな仕組みは必要。「活動団体」「自治会」「市」が協力し合うことが大切である。
- ・地元自治会と公園の関わり方について引き続き検討が必要である。
- ・まずは、現場で汗をかいて活動してみることが大事。不都合があればその都度改善していけばよい。
- ・組織の体制や活動内容などは、これから皆で考えていく。

「公園憲章(案)について」

・「楽しむ、育む、守る」という憲章は良い。

将来の公園

の方向性

・公園憲章(案)について皆さんで確認しました。

まとめ

・今後も、皆さんと協力しながら公園を育てていきましょうという意識を共有できました。

平成26年10月以降（予定）
利活用ルールづくりの検討

☆平成26年6月～10月頃（予定）
作業部会において維持管理方針を検討

今はここです！

☆平成26年6月
設計完了報告会
作業部会の立上げ

管理全般について

- ・子育て支援と協働の管理がうまくできると良い。例えば、子ども達を遊ばせてくれる方に来て頂き、親はボランティアや行事に参加する事もできる。
- ・情報発信の方法が重要である。例えば、芹沢公園だよりの発行や、幼稚園などとも協力してイベントのパフレットなどを配布してもらえると公園に触れ合える機会が増える。
- ・協働の管理を考える場合は、立場や権限などの検討も大事。例えば、利用マナーの指導を担う場合など。

協働の管理の役割分担について

作業部会では、「危険箇所や難しい管理は、市主体で管理を行い、楽しみながら出来る軽微な作業などは主に協働の管理で行う。イベント企画など運営面については、協働や市民主体など様々な方法を考えていく」という役割分担を確認しました。

「凡 例」

- 公園憲章(案)に関するご意見
- 運営管理に関するご意見
- 維持管理に関するご意見

維持管理

・作業部会では、市民協働で維持管理を行う作業部会（案）を確認しました。

次回のワークショップ（全体会）は、10月31日（金）の午後を予定しています。

次回もご出席のほどお待ちしております。これまでのワークショップや作業部会でお配りした資料をお持ちください！

問い合わせ先

座間市役所 都市部
公園緑政課 緑政係
電話：046-252-7221
担当：清 末

タイムスケジュール

★平成29年4月
開園（予定）

★平成27～28年度
利用運営組織の立上げ
公園利用ガイドラインの作成（予定）

芹沢公園育成くらぶ

ニュースレターVol.7

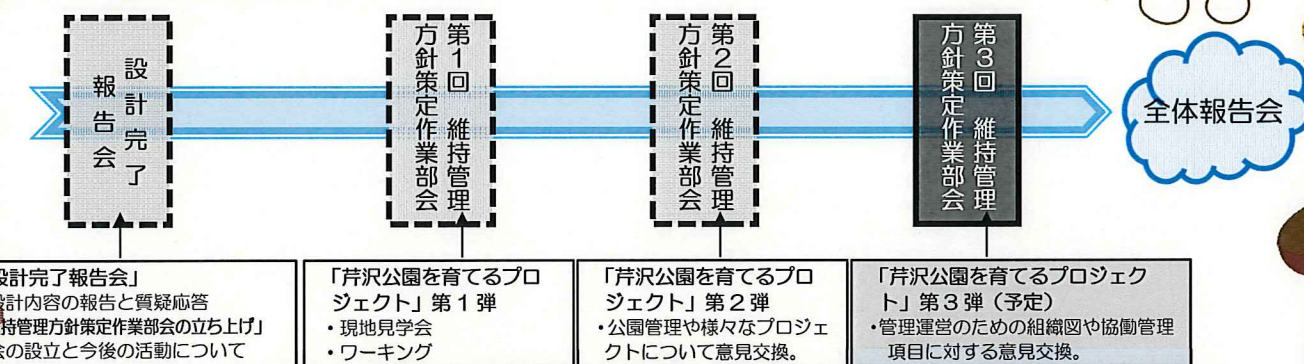
発行：芹沢協働の公園づくり検討会事務局（公園緑政課）

第3回作業部会が、平成26年9月30日（火）に開催されました。

第3回維持管理方針策定作業部会を開催しました！

第3回作業部会では、前回までの話し合いを踏まえ、芹沢公園憲章（案）や、協働による管理の方針（案）の意見を交換しました。意見交換は2部構成で行い、第1部では、公園を運営管理していく上での協働の体制や仕組み（組織）をテーマとし、第2部では、公園の協働による維持管理をテーマとして、具体的な管理項目や範囲について話し合いました。

○今年度の作業部会の流れ



○第3回作業部会の内容

受付・部会長の挨拶
資料説明

第1部のテーマ
公園の運営管理について

第2部のテーマ
公園の維持管理について

おわりの挨拶



矢澤部会長の挨拶



事務局による説明の様子



公園憲章(案)に関する意見交換



仕組みづくりの説明



仕組みづくりに対する意見交換



ワーキングの様子



協働の管理方針の説明



まとめの様子

今回いただいたご意見は中ページに記載しています！

部会長によるおわりの挨拶

ワーキングでは、皆さんからたくさんのご意見をいただきました！



皆さんの意見を
見てみよう！

「公園憲章(案)についてのご意見」

- 公園を「楽しみ」や「育み」の視点でみると、遊具で遊ぶ事やバードゴルフ等の運動、畑や花壇での作業など、利用を主とした動的レクリエーションは「楽しみ」と言える。ホタルの育成環境づくりや雑木林の管理、菖蒲田の管理、自然観察会などの静的レクリエーションは「育む」と言える。そして、公園には市民生活を守るための防災上の大切な役割もある。次世代の人を惹きつけるという意味も考えると「楽しむ・育む・守る」という憲章(案)は良いと思う。

第1部のテーマ：「公園の運営管理について」のご意見

～協働体制・仕組みづくりについて～

○全体組織（芹沢愛護の会(仮称)）について

- 新たな公園施設ができるので、管理・運営していく仕組みもきちんと作る必要がある。
- 枠組みを作って行かないと先に進まない。新しい組織をつくる事に皆さん異論はないと思う。
- 公園に関わる方々が、情報交換できる場があるだけでも価値はあると思う。
- 実際にこの組織で活動してみて、不都合があればその都度修正して行けば良いと思う。
- 自治会と市が協力して活動していく事が大切だと思う。
- ボランティアや活動団体も地元の自治会の方々と協力し連絡し合うことが大切だと思う。
- 地元の自治会として公園との関わりを担うセクションを作る提案をしてみたいと考えている。
- 新しい組織では、芹沢公園での活動が月1回の団体などは常時芹沢公園にはいないので、公園の管理を担う権限を持った管理専従者、常設組織を設ける必要があると思う。管理専従となれば管理コストも考えていく必要があると思う。
- 現状ではメンバーも少なく常時公園にいるのは難しいと思う。

○小部会や活動メニューについて

- 里山グループの雑木林管理は自然グループに含め、自然グループを里山自然グループに変更し、花植えや収穫祭などは栗原農協などにも協力して頂き、体験農場グループや営農グループとしてはどうか。
- 水辺環境グループの芹沢川の清掃は三面護岸張りなので難しいと思う。親水護岸の部分であれば可能と思う。

○人材確保や継続について

- 管理にしても維持にしても中心は人間。グループ分けが出来て、実際に管理運営を行う時には人出が必要。今後いかに市民を引き込んでいくか、市民と現在活動している我々との信頼関係をつくっていくかが重要と思う。
- 自治会で花壇をやっていて、市から年2回100束の苗をいただき日曜日に活動を行っているが、仕事も多様化し休日にも仕事されている方は沢山いる。回覧板では中々人手が集まらないのが現状である。集め方で何か良い案はないか。
- 一自治会というまとまりだけでは限界があるので、地区自連など大きな組織に呼びかけは出来ないか。人を集めるための具体的な方策や仕組みをまず作って行く必要がある。
- 今までは机上で行ってきたので、これからは実際に現場で汗をかいていくことが大事である。
- 花植えなど個人単位で花を植えたい、毎日管理したいという人も沢山いる。そういう方が参加し易いきっかけを作ったら良いと思う。
- 谷戸山公園では毎日公園でラジオ体操をしている人や写真を撮っている人などがいる。そういった方々を引き込むことも大切。また、参加することのメリットを加えると参加する方も増えると思う。
- 何か参加するメリットがあれば定着していくと思う。
- 人材の確保や組織の継続に大事なことは、1つは市全体から活動を通じて関わってくれる人をどう呼び込むかということ。それとは別に安全面や衛生面についてどのような対策を行って行くかということが重要。

第2部のテーマ：「公園の維持管理について」のご意見

～市民協働の管理について～（内容や範囲など）

「こどもの遊び場について」

- 世田谷などのプレイパークではプレイリーダーがボランティアでなく雇用となっている。常駐などプレイリーダーの関わり方によると思うが、生活や立場の保証ができると良い。

「レクリエーション施設について」

- 林間広場の子ども遊具の維持管理項目が無かったので、市の管理項目に追加してはどうか。

「スポーツ健康増進系施設について」

- アップダウン園路は、市民主体でストライダーイベントなどやっていけたらいいと思う。

「鑑賞・散策・憩い系施設について」

- 既存林の老木の伐採は、危険な作業のため市が行うことで良いと思う。下草刈りは協働で行う。
- 菖蒲園の花菖蒲、紫陽花の観察会は協働で行いたい。
- お花畑の斜面については花壇の運営を市民主体で行いたい。

「水景施設について」

- 親水広場の池や水路については、イベントだけでなく水辺の生き物の管理まで市民主体で出来ると思う。池については、魚を放流してのボウフラ対策や水たまり場の管理を行いデング熱などの対策を実施すると良い。

「活動拠点施設について」

- 市のホームページで案内などを行って欲しい。
- 利用規制やルールは協働で考えて行く。

「その他施設について」

- 既存の駐車場の有料化は、今後使い方も含めて継続的な検討が必要。
- 雑木林の緩斜面地は、下草刈りを協働で行う。市民主体で落ち葉プールや子供の遊び場、どんぐりを発泡スチロールに差し込んで絵を描くなど、使い方や楽しみ方を考えていきたい。
- 雑木林の急斜面地は、木登り体験場を作るなど考えていきたい。
- 芝生広場は、協働で植物観察や昆虫観察を行いたい。

「公園全体について」

（子育て支援）

- 子どもたちを遊ばせてくれる方に来ていただき、親はボランティアや行事に参加してはどうか。

（情報発信）

- 芹沢公園だよりの発行。魅力的な活動を行うと同時に発信も大切である。
- 幼稚園などとも協力して、芹沢公園に関わるイベントのパンフレットなどを幼稚園の資料と合わせて配布してもらえるとより良いと思う。

（ルール・マナー）

- 犬の糞対策は、これから協働で考えて行く。
- マナー指導などの管理をする場合は、管理者にある程度の権限を与えるような仕組みづくりが必要である。一般市民が権限なく行くとトラブルのもとになる。

今回の作業部会では、維持管理の仕組みづくりや具体的な協働管理の項目等について意見交換を行い、さまざまな意見をいただきました。今回頂いたご意見を踏まえて作業部会(案)に検討を加えて、次回の全体会にてご報告致します！

